



統廃合で最後となる中六人部
小学校のアイガモ入田式



主な内容

6月定例会の概要	2	委員会活動報告	16
予算審査委員会審査報告	3	政策提言「市議会が市長へ」	17
委員会審査報告	4	ようこそ福知山市へ	18
討論・議決結果	5	9月定例会の予定	19
一般質問「ここが聞きたい! 6月定例会」	6~15	元気やで福知山! 「ふくちやま子育て教室 わかば」	20

小・中学校就学援助 入学準備金 増額される!! 一般会計・特別会計補正予算(総額3億4367万円)を可決!

上・中・下六人部小学校統合準備事業、橋りょう長寿命化対策事業、調節池整備事業、作業道等整備(災害復旧事業)など

- 地区計画(市街化調整区域)の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
- 法改正後初、農業委員会委員(20人)の任命に同意

6月5日から6月26日までの22日間にわたって6月定例会を開催しました。

この議会では、平成29年度一般会計および休日急患診療所費特別会計の補正予算をはじめ31議案が市長から提案されました。また、平成28年度予算繰越計算書他4件について報告がありました。

本会議の採決においては、補正予算、条例の一部改正、土地の取得、過疎地域自立促進市町村計画の変更など、全議案原案どおり可決しました。

また、農業委員会に関する法律の改正に伴い、委員の過半数を認定農業者等又はこれに準ずる者とするに同意し、農業委員会委員(20人)の任命について同意しました。

なお、一般質問は、14日～16日の3日間で行われ、18人の議員が質問を行いました。(内容はP6～15を御覧ください。)また、本会議には延べ40人の傍聴がありました。

6月定例会で決まった主な案件

(万円未満切捨)

平成29年度一般会計補正予算(第2号) ※主な事業	3億2,620万円
○コミュニティ助成事業(大内山田自治会公会堂改築)	1,230万円
○上・中・下六人部小学校統合準備事業	4,117万円
○小・中学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業	660万円
○橋りょう長寿命化対策事業	9,000万円
○社会資本整備総合交付金事業(道路整備)	8,726万円
○調節池整備事業(小谷ヶ丘・西川・桃池調整池)	4,200万円
○民間保育所施設整備事業	911万円
○作業道等整備事業(災害復旧事業)	600万円
○土地改良施設維持管理適正化事業(牧十二揚水機)	400万円
平成29年度休日急患診療所費特別会計補正予算(第1号)	1,747万円
○休日急患診療所の空調設備更新などの工事負担金	1,747万円

条例の一部改正など

- 地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
- 税条例の一部改正 他4件

その他

- 土地の取得(西川調節池)
- 過疎地域自立促進市町村計画の変更

人事

- 農業委員会委員の過半数を認定農業者等又はこれに準ずる者とするに同意
- 農業委員会委員の任命(20人)

■ 予算審査委員会

議第11号「平成29年度福知山市一般会計補正予算（第2号）」

議第12号「平成29年度福知山市休日急患診療所費特別会計補正予算（第1号）」

学校統合経費は有利な起債適用を

問 合併特例債など交付税算入が有利な起債を適用できない理由は。

答 六人部地域に限定した事業であり、合併特例債の対象とはならず、世代間負担の公平性を確保するため市債発行メニューの学校教育施設等整備事業債を利用した。

消防支援車の更新は

問 走行不能になるまで更新しなかった理由と支援車の必要性は。

答 本車両は24年間使用しているが走行距離は13万km弱であり、日常点検と故障時には修理での対応で維持管理していた。本車両は、救助現場への医師搬送、災害現場への人員輸送や資機材搬送、災害地域での情報収集や広報など、さまざまな緊急時において活



更新予定消防車両

用している。

コミュニティ助成の補助は

問 集会所などの施設改修工事に、一般財団法人自治総合センターの補助金を活用した理由は。

答 地元所有の集会所施設の改修であり、補助率が高い（総額の5分の3）コミュニティ助成事業を勧めたもの。

小・中学校の入学準備金の増額は

問 府内他市の状況は。また、要保護、準要保護の扶助の違いは。

答 ほぼ全市で増額されることとなっている。要保護は、生活保護で扶助される項目がある。しかし、いずれも支援の内容は同じだ。

上・中・下六人部 小学校統合準備は

問 スクールバスを4台購入するがその根拠は。

答 住民基本台帳に基づき、上・中六人部地区の今後の児童数の見込みを立てた。安全を考慮して全員が固定席を利用できるように検討した結果、中型3台、小型1台とした。

予算計上の時期に 問題はないか

問 社会福祉法人しあわせネットワークの竣工式が7月1日であるにもかかわらず、なぜ、今予算計上なのか。

答 府で補助金交付はすでに決定済みであった。法人内部による事業確定に日数を要したため。



社会福祉法人しあわせネットワークの竣工式

休日急患診療所と 医師会の負担は

問 工事概要と耐震は。

答 建物全体の空調工事を含めた改修工事だ。耐震については昭和57年建築時の耐震基準に合った建物である。

工事費の負担割合は。

答 福知山医師会との覚書に基づく協議の上、医師会が75%、市が25%とした。アスベスト対策については両者折半とした。

西川調節池整備事業は

問 計画区域内の都市計画道路との関係は。また、流域面積に太陽光発電所部分は含まれているのか。

答 都市計画道路と一部重なっている。道路については、整備段階で検討していきたい。流域面積は30・9haあり、太陽光発電所部分も含んでいる。

当初計画の内容は。

答 平成26年の内水災害を受け、総合的な治水対策事業として、概ね5年間で国、府、市の3者に割り振られた事業を実施していくものである。

作業道整備は

問 要望により実施するものか、調査により実施するものか。

答 作業道は、全体で約245路線と多く、基本的に自治会や林道管理団体からの要望に基づき実施している。

問 当事業は、一般財源による事業であるが、何らかの財源手当てはできなかったのか。

答 作業道は民地であることも含め、補助などのメニューがなく、一般財源で対応している。



災害復旧を待つ荒れた作業道

農地耕作条件 改善事業について

問 同一事業内で補正金額の増減がある理由は。

答 京都府の内示によるもので、全体的には減額傾向にあるが、事業の進捗によって増額される場合もある。
(全議案 全員賛成で可決)

6月定例会 委員会審査報告

議案審査

■総務防災委員会

福知山市職員の育児休業等に関する条例の一部改正

問 同じ子どもに対し、育児休業の再取得や再延長の事例は。

答 当初に休業期間を上限の3年間で申請した場合でも、実際には3年間より短期で職場復帰している例が多い。今まで、再取得の事例はない。

(全員賛成で可決)

市税条例の一部改正

問 肉用牛売却による事業所得の課税特例に関して、対象となる生産農家の実態と、適用期限の延長による税収への影響は。

答 平成28年度に申告がある生産農家は4人であるが、延長されることによる税収への影響はない。

(全員賛成で可決)

■市民地域委員会

過疎地域自立促進市町村計画の変更

問 学校施設改修事業の計画区域の「3地域」とはどこか。明示する必要はないか。

答 過疎地域自立促進特別措置法に基づき、三和、夜久野、大江の3地域が指定されている。府の指導により「3地域」と表記することとしている。単独もしくは2地域に係る事業の場合は、それぞれの地域名を記載する。

問 財政上の特例措置は大江のみでなく3地域が対象か。

答 3地域が対象であり、平成24年の夜久野学園設立の際にも同様の特例措置により起債充当がなされた。

(全員賛成で可決)

■教育厚生委員会

特定教育・保育施設(幼稚園・保育園・認定こども園)の運営基準を改める条例改正

問 改正の目的は。

答 保護者への特定教育・保

育の受給資格などの通知に際して、今までは「支給認定証」と「支給認定通知書」の両方を発行してきたが、関係法令の改正に伴って「支給認定証」は希望者のみに発行することとし、事務の効率化を図る。

(全員賛成で可決)

くらしの資金貸付金・市民病院診療費の債権放棄

問 債権放棄の内容は。

答 くらしの資金は12万円を上限として、無利子、無担保、保証人不要で貸し付ける資金で、20件197万1千円。診療費は、治療行為などに対する患者負担額で74件315万5349円。訪問徴収や分割納付の相談などさまざまな徴収努力を行ったが、時効の到来や自己破産、著しい生活困窮などにより、徴収が困難と認められたもの。

■産業建設委員会

土地の取得(西川調節池整備事業)

問 当該土地の対象となる西川調節池整備事業のスケ

ジュールは。

答 今年度9月には詳細設計が完成し、施工は平成30年度、31年度の2カ年を予定している。

問 多くの盛り土が必要になる。近隣は住宅地である。搬入路などの計画は。

答 詳細設計の中で仮設計画などを作成する予定である。基本的には住宅地を通らず、西川の上流から下流に向けて道をつくりながら工事を進めていきたい。

(全員賛成で可決)

福知山市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の改正(戸田地区整備計画)

問 建築面積が1500㎡と大規模なものとなっているが、魅力ある田園住宅地の形成という地区計画の目的を逸脱するのではないか。

答 地域の高齢化が進む中、時代の潮流に即した形で、地元地域活性化に向けた強い思いを汲み取り、今回、地区計画を変更するものである。

問 戸田地区は、平成25年に

水害の被害を受けている。築堤の整備や内水対策が十分でない中で、地区計画を進めることの危険リスクに対する考え方は。

答 堤防整備も河川改修も、計画に沿って進められており、災害の軽減を図るためのハード面の整備は段階的に進んでいる。さらに、危機管理の面においては、早め早めの対応により、被害の軽減を図っていきたい。

(賛成多数で可決)



現地調査も含め、2日間にわたり集中的な審議を行った産業建設委員会

ここが聞きたい！ 6月定例会

一般質問

各会派から18議員が質問に登壇！



質問議員

一般質問

1. 福知山市議会公明党
吉見 茂久 議員
2. 福知山未来の会
森下 賢司 議員
3. 蒼士会
田淵 裕二 議員
4. 大志の会
高宮 辰郎 議員
5. 新政会
柴田 実 議員
6. 無会派
荒川 浩司 議員
7. 日本共産党福知山市会議員団
紀氏百合子 議員
8. 大志の会
桐村 一彦 議員
9. 蒼士会
高橋 正樹 議員
10. 日本共産党福知山市会議員団
大槻富美子 議員
11. 新政会
中嶋 守 議員
12. 福知山市議会公明党
足立 伸一 議員
13. 新政会
竹本 和也 議員
14. 蒼士会
塩見 聡 議員
15. 日本共産党福知山市会議員団
塩見卯太郎 議員
16. 大志の会
西田 信吾 議員
17. 新政会
藤田 守 議員
18. 日本共産党福知山市会議員団
金澤 徹 議員

※所属会派は6月末現在

※この一般質問の掲載内容は、質問内容をもとに各議員が作成しています。

小中一貫校(仮称)三和学園開校に向けた取り組みは



平成31年度から(仮称)三和学園となる現在の三和中学校

福知山市議会公明党
吉見 茂久 議員



問 (仮称)三和学園となる現在の建物は年数が経過し、体育館は修繕が必要だ。また、今後、修繕すべき箇所の要望が出された場合の検討は。

答 三和中学校の体育館は屋根の雨漏り改修が必要となっており、本年度、改修を行う計画だ。また、本市の学校施設の整備は、市全体の中で緊急性などを考慮して優先順位をつけて対応している。今後、準備委員会の中で要望が出た場合は同様の観点で検討していく。

問 バスなど車の出入りが増えるため、交差点付近は児童生徒の安全上、課題がある。交差点周辺も含め安全対策は必要だ。教育委員会の見解は。

答 御指摘の箇所については(仮称)三和学園の設立を見据え庁内関係課とも協議し、通学路安全推進会議の中で協議検討していきたい。また、児童生徒の事故防止、安全確保に向けては今後とも学校、地域見守りボランティア、行政など一層の連携を図る中で取り組みを進めていきたい。(教育部長)

その他の質問

- ・2025年を見据えた総合事業等地域福祉に関する施策の推進は
- ・三和地域における地域コミュニティ交通導入モデル事業について
- ・教職員の負担軽減について

一般質問

野球場や陸上競技場などスポーツ施設のさらなる充実を!



移転の検討も含めて抜本的な改善が望まれる市営球場

福知山未来の会
森下 賢司 議員



問 本市のスポーツ施設整備の基本的な考え方は。適正配置を重視している。今後、「市スポーツ推進計画」を策定する中で、さまざまな角度から検討したい。(市長)

答 合宿や大会を誘致する上での課題はあるか。
答 競技ごとのニーズやトレンドをつかみながら、投資効果の有無も見極めた施設整備の検討が必要だ。

問 室設置を望む声もあるが、スペース確保が必要で、現有施設での拡張は困難だ。
答 移転の考えはないか。
答 移転も含めた適地検討や、有効な財源活用など総合的観点で検討したい。

問 競技者のニーズに合っていない市営球場の拡充はどう考えているか。
答 選手のトイレや更衣室を確保すること、駐車場の確保など、競技者への利便性は向上する。国・府・関係機関と協議しながら長期的な展望に立ったあり方を検討したい。(地域振興部長)

その他の質問

- ・教育予算のあり方を考える
- ・障害のある人も共に暮らしやすい社会づくりのために

築後90年。由良川堤防(岩沢堤)決壊の恐れ!



蒼士会
田淵 裕二 議員



市街地を守る岩沢堤防(築90年)

問 福知山の安全で安心な防災対策は。

答 災害情報の伝達・収集・対応などの課題を教訓に、市民と共につくる

災害に強いまちづくりに取り組んでいる。(市長)

問 昭和2年の堤防改築後、昭和28年に水位7m

80cmで堤防が決壊し市街地は壊滅的被害を受けた。

平成25年は水位8m30cmで昭和28年より50cm高くなり決壊の恐れがあった。

大型化する台風豪雨に、築90年の堤防は、高

水位・高水圧に耐えられるのか。

答 堤防は計画高水位

(7m74cm)迄が安全な構造で、超過の場合はいつ決壊してもおかしくない。

「即時の避難」が必要だ。

問 平成26年8月豪雨時

排水機場は停電による排水停止を繰り返し続いた。排水機の停電対策は。

答 停電時も排水ポンプの連続運転が可能となる

改善工事を現在実施している。(土木建設部長)

問 大規模災害を踏まえたソフト対策の状況は。

答 早期の注意喚起・避難情報伝達を行う。冊子

型の災害別新ハザードマップを作成し、総合的

な避難体制の強化をさらに実施していく。(危機管理監)

その他の質問

- ・ 中心市街地活性化の取り組みを問う
- ・ 福知山公立大学の現状を問う

一般質問

自治体クラウド、平成31年度導入に向けて検討へ



大志の会
高宮 辰郎 議員



本市の既存コンピューター
自治体クラウドとの経費面も含めた比較検討を

問 自治体クラウドの導入検討は。

答 導入済み市町村では共同運用のメリットがあり、災害などで庁舎が機能不全時のバックアップ

体制があることが大きな選択の理由だ。本市ではすでに最高の技術を用いて管理運営をしている。

市の防災センターにバックアップ機能を有するシステム整備を行っており、費用対効果などを比較検討した上で現時点において

は自庁式システムで運用している。日々進化する情報技術への対応や財政的な負担、既存システム

の更新時期なども充分考慮し、導入について検討を進めている。

問 自治体クラウドの導入を決断すべきだと思いが、市長の所見は。

答 自治体クラウドなどの情報システムに関する技術は日進月歩で進化を続けている。これらの技術革新も注視しつつ市民サービスの維持向上を念頭に置き、既存のシステムの更新時期を迎える平成31年度に導入すること

について費用対効果などを見極めながら検討を進めていきたい。(市長)

その他の質問

- ・ ICTの利活用について
- ・ 新教育委員会制度について
- ・ ふるさと納税について

安心安全な道路網の整備を



4車線化が計画されている国道9号線(篠尾地区)

新国会
柴田 実 議員



問 国道9号線拡幅の現状と予定は。

答 地元説明会を順次実施し、幅杭の打設が完了した。本年度に用地測量・用地境界の立ち合い、平成30年度に物件調査、平成31年度に用地交渉の予定である。関係機関と調整し、利便性の確保が図れるよう検討していきたい。

問 都市計画道路篠尾線整備の現状と予定は。

答 概略設計により既存市道や国道9号線などの取り付け計画を行い、京都府警察本部と事前協議中である。本年度に都

その他の質問

- ・上下水道事業の今後の取り組みについて
- ・有害鳥獣の捕獲・駆除について

(土木建設部長・市民人権環境部長)

市計画の変更、平成30年度に、事業認可の取得、その後、事業着手を図りたい。(土木建設部長)

問 篠尾地区の生活道路・通学路の改善予定は。

答 住居が連坦しており道路の拡幅改良は困難である。国道9号線と都市計画道路篠尾線の整備計画と整合を図りながら地元と関係機関との調整を進めていく。通学路については通学路安全推進会議において危険箇所合同点検を行い、改善策の検討と必要な安全対策を実施しているところである。

「環境パーク」こんなことやって、住民との信頼関係は…



体質改善が求められる環境パーク

無会派
荒川 浩司 議員



問 環境パークへの一般廃棄物処理業者のごみ持ち込みは事業所扱いだが、一部の業者は家庭用扱いである。その理由は。

答 社会福祉法人の入居者のごみで、ごみステーションに持って行けない人を配慮した運用である。

問 今回、問題となっている業者と、ごみの回収を委託している福祉法人との契約は、「事業所ごみ」である。しかし、私の調査では、環境パークへの持ち込みは、ほぼ家庭用扱いだ。その理由は。

答 福知山市民間社会施設連絡協議会とルールの検討を行いたい。

問 条例では、環境パークへの指定ごみ袋の持ち込みは無料である。しかし、平成13年2月から28年5月は有料扱いではなかったか。料金を払った市民や、現場の関係者からは有料扱いの証言や、市の上司に条例違反ではと申し出たが、改善されなかった、という話も聞かれました。これまでの実態は、料金の2重取りで、条例違反ではないか。

答 指定ごみ袋の持ち込みの時は、袋からごみを出し、袋を持って帰ってもらう指導であった。条例違反とは考えていない。(環境政策室長)

その他の質問

- ・住民への信頼を得るために、自治会長の特別職業業務の改善が必要では
- ・行政事業の全てに対する問題点の抽出と、その対応は

自治基本条例は「定期的な見直し検討」の明文化を



市民協働まちづくり講座 (三和地域公民館)

日本共産党福知山市議会議員団
紀氏百合子 議員



問 自治基本条例のまちづくりは誰のためか。
答 この条例で目指しているのは市民が主役のまちづくりだ。(市長)

問 条例の案文を作ったのはどんなメンバーか。
答 平成23年度に一般公募、自治会などの団体推薦、市職員8名などの計32名で「市民協働推進会議」を設置し平成25年9月に「自治基本条例の制定」、「地域協議会の導入」、「中間支援組織の設置」の3つの提言を受けた。平成27年度に部長級以上の職員で「自治基本条例制定委員会」を設

その他の質問

- ・マイナンバー(個人情報)の取り扱いについて
- ・子どもに配慮した保育所の配置について
- ・福祉バスの廃止による市民負担の増加について
- ・認知症の予防について

置し条例案を検討した。
問 来年4月の施行までの取り組み内容は。
答 市民への周知を図るために3回シリーズの「市民協働まちづくり講座」の開催や広報ふくちやまへの特集記事掲載、分かりやすいリーフレットを全戸配布する予定だ。

問 まちづくりを展開すれば条例の改正が必要と思われる。計画的見直しを明文化すべきでは。
答 今後は「福知山市自治基本条例推進委員会」で市長に提言いただき、検討、判断したい。(市長公室長)

一般質問

家庭、学校、地域、行政で子どもたちの健やかな成長を見守るために!



子ども110番

大志の会
桐村 一彦 議員



問 ふるさとの「宝」である子どもたちを、学校、家庭、地域などが見守り育てる体制づくりは。
答 いじめや虐待から子どもを守る取り組み、街頭啓発や広報・講演会などを通じ家庭、地域への啓発に取り組み、今後とも地域や家庭と一緒に見守っていききたい。(福祉保健部理事)

問 安全を見守る体制が全域で組織され、あいさつ運動や登下校の見守りを実施していただき、家庭・学校・地域がそれぞれの立場で活動されている。
答 福知山市の子ども貧困の現状と対策は。
問 早期発見、未然防止に努め就学前から高校までの子どもや保護者を対象に教育相談を実施している。
答 庁内プロジェクト会議の実施や本年7月以降に「子どもの貧困検討部会」を設置し、有効な施策を検討していく。(福祉保健部理事)

その他の質問

- ・雇用拡大施策について
- ・有害鳥獣対策について

6年間に2度の浸水の上、堤防未完成! それでも…



蒼士会
高橋 正樹 議員



平成25年の台風18号による石原、戸田地区の被災状況

問 市街化調整区域内で、商業施設などの建築が可能となる地区計画区域拡大の動きについて、どのような考え方なのか。

答 市街化区域の土地利用の妨げとならない範囲で、農林業の担い手の確保や既存集落のコミュニティの維持と地域住民の日常生活の機能の回復を図ることが目的である。

問 地区計画の対象地域は、市が作成配布している防災ハザードマップにおいて、洪水危険区域にあっても問題は無いのか。

答 市が現状の安全と将来の見通しを判断し、災

害のリスクが軽減されたことの確認や地域住民の同意が得られれば区域に含めることとしている。

問 地域の同意とは、災害に見舞われても「仕方ない」という意味の同意か。

答 最小限の被害で、最大限の土地利用効果が上げられるという判断をされていると考えている。

問 市の地区計画運用基準では「災害による被害が大きくなる恐れのある土地を含まないこと」と規定されているが。

答 福知山市は早め早めの避難誘導で、被災を未然に防ぐ対策を講じている。(土木建設部長)

その他の質問

- ・地域公共交通網の充実について
- ・広報バスの廃止による市民サービスへの影響について
- ・長田野工業団地活用増進計画に関連して

一般質問

保育園・幼稚園の待機児童解消を



日本共産党福知山市会議員団
大槻富美子 議員



待機児童の解消で、子育て応援の市政を

問 市の待機児童は、保育園では50人、幼稚園では32人にのぼる。解消のため対策を。

答 今年度、保育園では20人の定員増を図る。各園と協力し、施設整備、保育士確保に努める。(市長)

問 幼稚園は敷地の確保など早期対応は困難だが引き続き検討する。

答 幼稚園は敷地の確保など早期対応は困難だが引き続き検討する。(市長)

問 市の子ども子育て事業計画では保育園、幼稚園の「量や確保」の見込み数は平成31年まで現状維持または減少傾向だ。この数字は現実と乖離し、見直すべきだ。

答 現況は保育、教育とも増加傾向にある。子ども子育て会議の中で意見を聞き、見直しを行う。

問 女性の活躍推進を進めるために、働きやすい環境を整えることは重要だ。踏み込んだ対策が求められるが見解は。

答 保育の定員増や保育士確保により受け皿拡大に努める。本市にあった認定子ども園などの検討も進める。

問 認定子ども園は保育料を園が自由に設定でき、保育の質も問題だ。

答 保育の質を確保するために市として努力する。(福祉保健部理事)

その他の質問

- ・医療と介護をめぐる問題について
- ・自治会所有の除雪機の維持管理について

犯罪のない安心安全なまちづくりの推進について



新政会
中嶋 守 議員



公共空間に設置されている防犯カメラ

問 本市の犯罪発生状況は。
答 平成28年の本市の犯罪件数は、458件、主な犯罪の種類は、万引き、器物破損、自転車盗、車上狙い、特殊詐欺などであり、福知山警察署からは安心できる状況ではないと聞いている。
（市民人権環境部長）

問 安心・安全まちづくり協定の内容は。
答 誰もが安心・安全で住みやすさを実感できるまちを目指すことを目標としている。東京オリンピック開催までに、本市の刑法犯認知件数を445件以下に、交通事故発生件数を120件以下にする。
（市民人権環境部長）

その他の質問

- ・ 市民向けの安心安全配信メールについて
- ・ 市営住宅の入居にかかるひとり親家庭への支援について

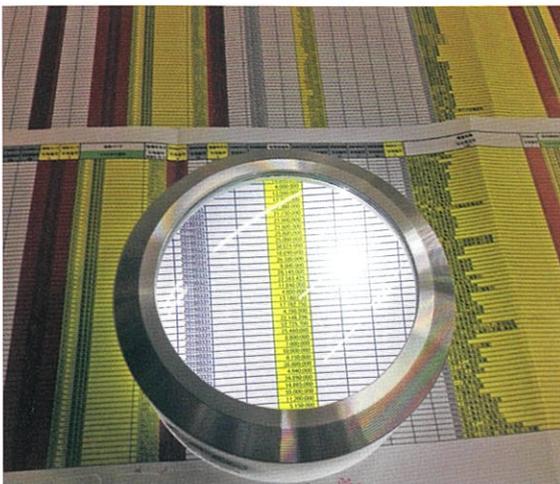
問 公共空間における防犯カメラの設置についての考えは。
答 市としても必要性を認識しており、警察署からも要望を受けている。公共空間に防犯カメラを設置するには複数のカメラ設置が必要と考えられることから、財源措置について京都府に要望し、設置に向けた検討を行いたい。財源の確保を図り、警察署とも十分協議をし、検討したい。
（市長）

一般質問

新公会計制度導入で何が見える？



市議会公明党
足立 伸一 議員



約9千筆におよぶ固定資産台帳整備

問 福知山市が持つ土地や、施設、インフラの膨大な資産が金額でいくらかを、調査する作業が固定資産台帳整備である。市は3年かけて新地方公会計制度導入へ向けて準備してきた。今年29年度には貸借対照表などの財務書類を作成し、公開する。今の会計に新公会計を加えることで、一体何が見えるようになるのか。
答 今より多様な財務分析ができる。例えば、借金残高が減ったように見えても、それ以上に保有資産の老朽化が進んでいる場合がある。新公会計

その他の質問

- ・ 森林整備について
- ・ 公共施設マネジメントにおける市所有資産の民間譲渡について

では、減価償却費の算定で老朽化を数値として表しており、将来へ向けて資産への投資と負担はどうあるべきかを検討する有効なツールである。
（市長）

問 導入後の活用は。
答 公会計情報を市民と共有し、財政運営の透明化に役立てる。人口減少時代に限られた財源を賢く使うよう、減価償却費算定や施設維持に必要な人件費、物件費を収集し、事業別、施設別のコスト分析、受益者負担の適正化など、市全体で活用を考える。また他市とも比較し、暮らしやすさへの投資を追求していく。
（財務部長）

移住・定住の促進と企業誘致の一年間の成果は



新国会
竹本 和也 議員



長野野工業団地アネックス京都三和の案内標

問 移住・企業立地推進課が創設され、移住定住に関し、1年間の成果は。

答 昨年に創設以来、ホームページや情報誌などによる情報発信や、お試し住宅の活用など、移住希望者への伴走型支援に取り組んだ。平成28年度では、住宅支援金や雇用制度を利用した移住者は31世帯62人である。半数は京阪神が中心で15世帯34人、その他埼玉、茨城県、綾部市、与謝野町の移住者で一定の成果であった。

問 移住促進施策の「空き家バンク制度」は。

答 「空き家バンク」登録件数は34件、希望者198件と増加傾向にある。

問 企業誘致における成果や、今後の見通しは。

答 長野野工業団地アネックス京都三和で2社の立地が決定した。分析装置や分析充填剤の製造業と、神社、仏閣用需要品の受託製造業であり障害者雇用に積極的に取り組んでいる。2社の立地の結果、分譲地残13区画、立地企業10社となる。2社の立地により、将来的には130人程度の地域雇用が見込める。

その他の質問

・観光戦略に基づく魅力づくりについて

(地域振興部長)

後期高齢者は増えるが、支える世代や財源は減る。厳しい介護環境の中で、私たちの暮らしを守るために



蒼士会
塩見 聡 議員



2040年には高齢者一人を現役世代1.4人で支える

問 105人の介護人材が不足しているが、人材不足が原因で稼働していない施設は。

答 ショートステイが4カ所など合計7施設が稼働していない。

問 平成28年度の新規就業者は181人。一方離職者は196人。介護人材不足を解消するため、離職を減らす新たな取り組みを。

答 業務効率化や負担軽減を図り、働きやすい職場環境整備や人材育成の仕組みづくりなどさまざまな取り組みを研究して離職防止の方策を官民挙げて検討していきたい。

問 これから後期高齢者が増える反面で、支える世代や市の財源も減る。このような中では介護状態にならない予防が大切だが。

答 本年4月より一般介護予防事業を始めた。

問 また歩いて買い物に行くことを促すなど普段の生活が介護予防となる取り組みを増やすべきでは。

答 普段の生活の中で、体を動かす、頭を使うこととの効果や重要性など市民の方に分かりやすく説明しながら、介護予防に関する意識向上を図られるように今後も努めていく。

(福祉保健部長)

その他の質問

・新公会計制度導入による福知山市への影響は
・北朝鮮のミサイルへの対応策は

農家への支援強化と防護柵の早期完成を



鳥獣防護柵設置箇所

日本共産党福知山市議員団
塩見卯太郎 議員



問 平成30年度以降の米を再生産できる支援策は。
答 米を作りすぎると米価の低下を招く。需要にあつた情報提供を行い転作を奨励し、米作りが有利になる安定策を図る。
問 専業農家と兼業農家の支援策は。
答 平場では農地集積で経営の安定を図る。中山間地域では地域ぐるみの集落営農を図り、持続可能な取り組みにする。各種支払交付金を活用し補助金も含めて収益性を担保していく。

問 鳥獣被害対策は喫緊の課題であり、防護柵の設置は早期に完成を。
答 国に強く要望してきた。国の昨年度の第2次補正予算で本市に9千万円と、現年度の予算3200万円の計1億2200万円の内示を受けた。防護柵を新たに127キロメートルが設置でき、農区の要望の半分は実施できる97キロメートルの資材購入の事務を進めており、秋には配分したい。また現年度予算分は要望個所の中から選定し、早く実施できるようにしたい。(農林商工部長)

その他の質問

- ・総合的な中小企業振興について市長の決意を問う
- ・教職員の長時間勤務の解決のために
- ・米軍実弾訓練について

一般質問

婚活支援は少子化対策の入り口。事業を復活すべきでは



大志の会
西田 信吾 議員



問 本市の出生数、少子化の要因、対策の重要性は。
答 増減はあるが減少している。平成28年の出生数は724人。少子化の要因は未婚化、晩婚化の進行。対策は重要だ。
問 少子化対策条例は。
答 総合的な政策になるもので他市の状況を見て研究する。個人の価値観に配慮する必要がある。(福祉保健部理事)

問 本市独自の婚活支援事業は今年度あるか。
答 独自の事業はない。生涯未婚率の上昇は、多様な価値観が影響している。本市の数字は公表されていない。
問 府の「婚活支援センター北部スポット」とは。
答 5月に開設。婚活相談など、北部の拠点となる。本市は会場の提供などを行う。
問 事業棚卸しで婚活支援事業を廃止した理由は。
答 4年を期間とした。センター開設を契機に府と連携することとした。
問 婚活事業の成果は。
答 5年で4組の成婚。
問 事業を復活できるか。
答 センターに同種の補助制度があるので復活しない。(地域振興部長)

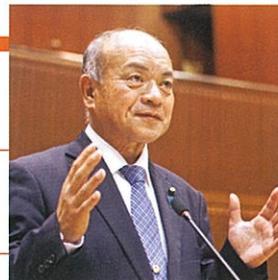
「婚活支援センター 北部スポット」のパンフレット

その他の質問

- ・働き方改革と職員の勤務時間について
- ・市民のアイデア活用について
- ・施政方針で示された「本市がもつポテンシャル」について

問 市長の見解は。
答 センターと連携する。さらに検討する。(市長)

中六人部小学校統廃合へ144年の歴史に幕!



新政会
藤田 守 議員



校歌にある「庵戸山」へ全児童と登山

問 小学校統廃合に向け、より良い教育環境の整備の進め方は。

答 学校再編は、複式学級の解消を念頭に統廃合を基本としている。保護者や地域住民の理解協力のもと、できるだけ早く再編を進めたい。

(教育長)

問 上六人部・中六人部小学校は来年4月に下六人部小学校へ統合される。具体的なスケジュールは。

答 今後は、統合協議会から出された課題や要望に対して十分検討し統合を円滑に進めたい。なお、校舎は、現在のものに対応可能であるが、平成32年度には、児童数の増加

その他の質問

- ・医療・介護・福祉の充実した暮らしづくりについて
- ・地域の活性化を図るまちづくりについて
- ・産業振興をめざした事業者支援と人づくりについて

により不足する見込みである。

問 スクールバスはどのようなになるのか。

答 受注生産で、乗車訓練など安心して通学できるように早急に準備を進める。

問 PTA保護者の要望もある中、不安もあり課題や対策をどうするのか。

答 合同授業や行事で交流を深めるとともにスクールカウンセラーによる教育相談などにもあたる。

問 学校施設の跡地利用は。

答 公共施設マネジメント計画に基づき地域の皆さまと一緒に検討していきたい。

(教育部長)

市長は、憲法9条を尊重する立場なのか?



日本共産党福知山市議員団
金澤 徹 議員



市役所玄関前懸垂幕
「恒久平和都市宣言のまち福知山」

問 安倍首相は5月3日、憲法9条に自衛隊を明記する改憲を行い、2020年に施行すると宣言。このことは憲法99条(憲法尊重擁護義務)違反であり、同時に三権分立の否定だが、見解は。また、首相は9条1項と2項はそのままして、3項に自衛隊を明記するとしているが、いかが考えるか。

答 憲法尊重は基本。三権分立も憲法で定められた原則で、尊重されなければならぬ。憲法改正について、憲法の三大原則である主権在民、基本的人権の尊重、平和主義は順守されるべき基本的な理念、原則。この原則

その他の質問

- ・高浜原発の再稼働について
- ・再生可能エネルギー実施計画の策定について
- ・部落差別解消推進法の施行に伴う市の対応について
- ・かしの木台地内の市道(歩道)の安全確保について

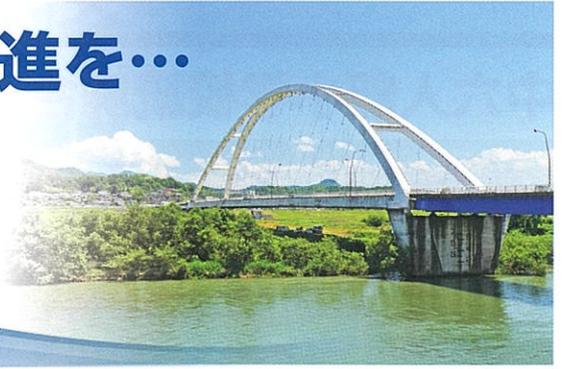
を基本に憲法について、国民が関心を高め、国会などでしっかりと議論される必要がある。本市は昭和45年世界連邦平和都市宣言、昭和62年恒久平和都市宣言を行い、平和を愛し、戦争に反対する姿勢を示している。これらの宣言の理念を踏まえる。

問 世論は憲法の改定を望んでいない。安倍首相の憲法に自衛隊明記は9条2項を空文化するものである。市長は憲法9条を守る立場か。

答 憲法9条を尊重する立場である。(市長)

由良川改修事業の着実な促進を…

平成29年度の治水対策事業の概要を学び 現場の進捗状況を確認



～由良川改修促進特別委員会 活動日6月6日～



委員会の様子

由良川改修促進特別委員会では由良川に関する治水対策事業の円滑な進捗と早期実現に向けて調査研究を行うとともに、国・府など関係機関へ要望活動を展開している。平成29年度は、「中流部・下流部の治水対策事業の推進」「地域へ出向いて住民との意見交換」「住民の声を反映した国・府等への要望活動」を活動方針に掲げ、委員会活動を行っている。

6月6日には、治水対策事業の現況と今後の予定を確認し、現地視察を行うための委員会を開催した。

まず、国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所より事業概要について詳しく説明を受けた。

また、中流部堤防天端を舗装して強度向上を図る（越水による決壊までの時間をかせぐ）整備は、昨年度で終了したことで、相長川水門は本年度末で完成見込みであること、下流部の波美付近で約2万5千mの河道掘削が予定されている。宅地嵩上げ事業としては、平成27年度末時点で約30%の進捗状況であることなどの説明があった。

続いて市内3カ所の現地視察を実施した。荒河排水機場のポンプ増強工事では、排水



連続堤防整備(私市地区)

本年度は、中流部の私市・戸田・川北付近の連続堤防の整備を鋭意進められ、さらに、下流部では、下天津などの宅地嵩上げ事業が引き続き進められる。



宅地嵩上げ(ジャッキアップ工法)

下天津の宅地嵩上げ現場では、ジャッキアップ工法での施工状況を確認した。現在数軒が進行中だが、浸水深が大きいところから順次進められる予定だ。



増強された荒河排水機場ポンプ

量毎秒3トンの増強が完了し、従来の排水量と合わせて毎秒13トンが確保できるようになったことを確認した。他の排水機場でも増強工事である。

私市では由良川・相長川合流地点に整備中の相長川水門を視察した。現在は、水門上部に建屋の建築中である。全体の完工は本年度末だが、現時点においてもゲート閉鎖が可能な状態であった。



新設された相長川水門

委員会では、由良川沿川住民との意見交換を行ない、そこで聞き取った声を反映させた要望書をまとめることとしている。

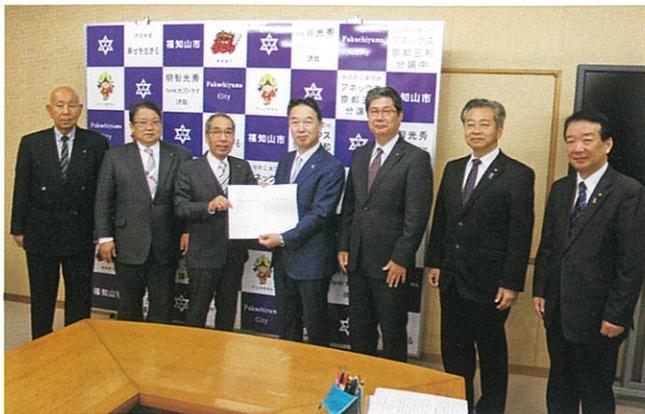
8月には、委員会による国土交通省、京都府への要望活動、9月には由良川沿川市議会（福知山市、綾部市、舞鶴市）合同での要望活動を予定している。

市議会から市長へ 政策提言書を提出！

「地域防災の要」「消防団の活動支援」と、市内全域で深刻化する「空き家対策」

福知山市議会では、委員会などの調査研究活動の成果を具体的に政策につなげるため、政策提言、条例案などの提出を見据えた取り組みを行ってきました。

こうした活動の成果として、総務防災委員会から「消防団活動支援に関する政策提言」、産業建設委員会から「空き家対策に関する政策提言」が提案され、4月26日に市長に提言書を提出しました。



《消防団活動支援事業》

地域防災の要である消防団は、近年、団員の減少、被雇用者団員(サラリーマン団員)の増加、団員の高齢化など、多くの課題を抱えている。団員確保や消防力低下の防止策に取り組み、持続可能な消防団活動の充実強化を図ることが、喫緊の課題である。

政策提言

① 団員確保施策の推進

(消防団応援事業)

団員カードの発行による生活支援、各種行事での活動紹介、関係機関を通じての加入強化ふるさと納税基金の活用など

② 団の統合・再編の支援

統合、再編にかかる財政支援の拡充と全体計画の策定の検討

③ 機能別消防団の拡充

団員確保と効率的な消防団活動および機動力向上を目的とした機能別消防団の推進

④ その他

消防団員の処遇改善および装備の充実

(政策提言への思い)

市民全体で消防団を応援する中で、今後の消防団活動がさらに活性化し、「地域住民が安心して暮らし続けられるまち」となるよう期待する。



消防団の訓練の様子

《空き家対策》

空き家問題は、地域活力・防災機能の低下、治安・景観の悪化など、周辺環境に多大な悪影響を及ぼし、本市においても喫緊の課題となっている。

本市では、平成28年8月に「空家等の適正管理に関する条例」が施行され、本格的な

空き家対策が進められようとしている。

政策提言

「未来への投資とその必要性」

① 空き家の実態把握と早期発見

自治会、地域協議会などとの連携強化と情報共有、転出者・転居者に対する意向調査、ワンストップ窓口の設置など

② 管理不全な空き家の予防

ホームページなどでの定期的な広報、リーフレットなどを活用した問題意識の醸成、相談窓口の充実、セミナーの開催など

③ 空き家利活用

空き家利用希望者への情報提供、空き家情報バンクの登録推進と流通促進、専門的知見からのアドバイス、個別相談実施、空き家リフォーム、家財撤去などの助成制度の適用拡大の検討など

④ 危険な空き家の解消と安全対策

空き家除去費用、空き家解体後の用地活用にかかる支援制度の検討など

(政策提言への思い)

危険な空き家を発生させない、放置しないことを市域全体の共通認識とし、より実効的な空き家対策が進んでいくことを期待する。



空家等対策協議会の様子

福知山市議会では、今回提出した政策提言書の取り組み状況を今後も注視するとともに、新たな課題に対する政策提言を行っていきます。

「ようこそ福知山市へ」

注目を浴びる福知山市議会・福知山市政！

福知山市議会では、全国からの行政視察を受け入れています。

平成26年4月から29年7月末まで、合計85市の市議会が福知山市に視察に来られています。

主な視察のテーマは、「防災対策について」「市民病院の運営について」「福知山公立大学について」「中丹有害鳥獣処理施設について」など多岐に渡っており、こうした機会を通じて、本市の先進的な施策が紹介されています。

中でも4割を越える37件は、福知山市議会の議会運営に関係するテーマとなっており、全国で議会改革への機運が高まる中、本市議会の議会改革への取り組みが全国へ発信されてきているものと思います。

また、視察に来られた際には、他市議会のみなさんと、和やかな雰囲気の中で意見交換などが行われています。こうした機会を持つことにより、互いの議会に関する情報交換や、議会運営に関する課題を共有するとともに、来訪市議会から本市議会の運営について学び参考にさせていただくこともあります。

福知山市議会では、今後とも行政視察の受け入れを通じて、全国の市議会のみなさんと積極的に交流し、より開かれた議会運営に生かしていきたいと考えています。



7月4日 佐賀県伊万里市議会様の行政視察

平成29年度視察受け入れ実績 (7月末現在)

番号	月 日	団体名	会派・委員会名	視察テーマ
1	5月17日(水)	宮城県気仙沼市	議会運営委員会	議会運営および議会活性化の取り組みについて
2	5月18日(木)	大阪府箕面市議会	箕面政友会	市立福知山市民病院の建替えについて 市民病院視察
3	5月25日(木)	北海道旭川市議会	民主・市民連合	福知山公立大学について 公立大学視察
4	7月 4日(火)	佐賀県伊万里市議会	議会運営委員会	議会改革の取り組みについて
5	7月 6日(水)	熊本県天草市議会	議会運営委員会	議会運営について
6	7月10日(月)	宮崎県宮崎市議会	市民経済委員会	中心市街地活性化における取り組みについて 福知山城、ゆらのガーデン視察
7	7月12日(水)	香川県三豊市議会	議会活性化特別委員会	議会改革の取り組みについて
8	7月19日(水)	鹿児島県出水市議会	議会活性化推進特別委員会	議会改革の取り組みについて
9	7月24日(月)	兵庫県小野市議会	議会運営委員会	議会運営および議会活性化の取り組みについて
10	7月26日(水)	湖南地区市議会議長会	事務局職員研修会	議会改革の取り組みについて



本会議・委員会を傍聴しませんか



本会議・委員会を傍聴席において傍聴できます。

本会議の傍聴は、市役所本庁6階へ、委員会の傍聴は本庁舎5階各委員会室へお越しください。

なお、団体で傍聴を希望される方は、事前に市議会事務局までご連絡ください。

福知山市役所来庁舎駐車場を利用される方に、90分を越える場合には無料駐車券を発行しますので、市議会事務局まで申し出てください。

手話通訳による本会議・委員会の傍聴ができます。

聴覚に障害のある方が、本会議・委員会を傍聴できるよう、傍聴席において手話通訳を行っています。手話通訳を希望される方は、所定の用紙に必要事項を記入の上、市議会事務局へ提出してください。ただし、手話通訳者および会場都合などにより、お受けできない場合もあります。

○申請書は、福知山市議会ホームページからもダウンロードできます。

○申し込み先：福知山市議会事務局

〒620-8501 福知山市字内記13番地の1(市役所5階)

電話：0773-24-7031 FAX：0773-24-7080

e-mail：sigikai@city.fukuchiyama.lg.jp



9月 定例会の予定 (53日間)



- 9月 1日(金) 本会議〔提案理由説明(補正予算、条例等)〕
- 12日(火) 本会議〔質疑～委員会付託(補正予算、条例等)、提案理由の説明(決算)、一般質問〕
- 13日(水) 本会議〔質疑～委員会付託(決算)、一般質問〕
- 14日(木) 本会議〔一般質問〕
- 15日(金) 各所管別委員会〔条例・その他〕
- 19日(火) 予算審査委員会〔補正予算〕(総務防災・市民地域関係)
- 20日(水) 予算審査委員会〔補正予算〕(教育厚生・産業建設関係)、討論・採決
- 25日(月) 本会議〔委員長報告～採決(補正予算、条例等)〕
- 27日(水) 決算審査委員会(所管別質疑)
- 28日(木) 決算審査委員会(所管別質疑)
- 29日(金) 決算審査委員会(所管別質疑)
- 10月 2日(月) 決算審査委員会(予備日)
- 10日(火) 決算審査委員会(総括質疑・自由討議・討論・採決)
- 20日(金) 本会議〔委員長報告～採決(決算)〕
- 23日(月) (会期)



※この議会予定は、今後変更になる場合があります。また、このほかに、全議員協議会などの会議を随時開催します。

お詫び

ふくちやまし議会だよりNo.113の記事の中に誤りがありましたので、次のとおり訂正し、お詫びいたします。
1ページ 5月臨時会で決まった案件の概要 および 4ページ 議決結果
誤 固定資産評価委員 → 正 固定資産評価員

「元気やで福知山！」

No.23

議員訪問インタビュー

■今回の訪問議員：井上 修・塩見 聡

ふくちやま子育て教室わかば 「ゆったりまあるい子育て」をモットーに

福知山でさまざまな活動を通じてがんばる人に、取材先を募集し、議員が訪問します。

今回は「ゆったりまあるい子育て」ふくちやま子育て教室わかばさんに、突撃取材を行いました。笑顔のやさしい足立幸恵代表から、お話を伺いました。



安心できる子育て

環境を作るために

「なぜ子育て教室が必要なの？」まずは、怒られそうな質問を投げかけました。

「子育てって、子どもも、親も一緒に成長するんです。時代時代の、その時々悩みがあるんですよ。安心して子育てのできる環境が絶対必要ですよ。ね、どうしたらできるのかな？」そんな思いから、現副代表の佐金美弥子さんと共に、任意団体を立ち上げて5年目を迎え、次のステップに入ろうとされています。

どんなこと

やってみるの

「オムツは普通に向けてどうしたらいいのかな？」「少しはお片付けできるようにしてほしいな」など、ママたちの要望に応え、オムツなし育児アドバイザーと整理収納アドバイザーのコラボ企画を実施。オムツに付いたウンチの色や柔らかさから、体調を知ることができる、収納って簡単にできるんだと驚きの声。

好評企画「カプラで遊ぶ」では、ママ・パパ・子どもたち皆でつみきのような木片を積み上げて、人の背丈より高いキリンをつくったり、高層ビルづくりにチャレンジしたりして、協調性、集中力・繋がりを学ぶことができるそうです。



ゆったりまあるい子育て

子育てって

「福知山市でも乳幼児虐待が起こっています。そんなニュースが流れるたびに、悔しくて、情けなくって、少しでもママたちに寄り添いたい。絆や地域とのつながりが必要です」と言われています。

「子育て教室わかばが、子育ての中間支援をしていくことで、私自身も成長していく。ママたちも子育てを通して、気付きや悩み、新たな友だちとの出会いで成長していく。そして大事にしてほしいのが、自分自身のケアです。」

子どももママたちも一緒に楽しんでみましょう」と、キラキラした目で話を

目指すものは

現在、子育て教室わかばは、活動の充実を図るため、法人化に向けて新たなスタートを切ろうとしています。

子育てに終わりはありません。これからも、ママだけでなくパパも、コミュニケーションとスキルアップ、毎日を楽しく、ためになる子育て支援を目指しています。妊娠期から子育て世代、孫育て世代の、皆さんの参加をお待ちしています、とのこと。



感想

他にも、わかばセーフティーネットボランティアリトミック教室など、多くの活動をされています。代表の熱い思いが伝わり、勉強になる取材となりました。頑張れわかば！

編集後記

毎朝、わが家の愛犬と散歩します。小鳥たちのさえずりに心を傾けるとさまざま声が聞こえます。ホーホケキョ、ピーよるろ、クイー…。市政も弱い立場の市民の声ほど、心を傾けなければ聞こえてはまいります。

早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革ランキング調査において昨年、福知山市議会は全国第10位でした。本年は20位。ランキングにとらわれる必要はないのですが、市民の声にしっかり向き合い政策提言に結びつけていくことが一層、求められます。

新メンバーで編集します。よろしくお願います。



(広報広聴委員会)